

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第45週の発生動向

全数報告の感染症 (45 週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 2 例。3 類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1 例。
- 4 類感染症：つつが虫病 4 例、日本紅斑熱 1 例、レジオネラ症 1 例。
- 5 類感染症：梅毒 1 例、百日咳 5 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	60 歳代	女	リンパ節炎	右頸部リンパ節炎
			60 歳代	女	肺結核	痰
3類	腸管出血性大腸菌感染症	都城	5~9歳	女	—	水様性下痢、血便、O157(VT不明)
4類	つつが虫病	都城	20 歳代	男	—	頭痛、発熱、刺し口、リンパ節腫脹
			60 歳代	男	—	頭痛、発熱、刺し口、発疹
			60 歳代	男	—	頭痛、発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発疹、肝脾腫
			90 歳代	女	—	発熱、刺し口
	日本紅斑熱	宮崎市	80 歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹、肝機能異常
レジオネラ症	都城	80 歳代	女	肺炎型	発熱、呼吸困難、肺炎	
5類	梅毒	都城	30 歳代	男	早期顕症梅毒(Ⅱ期)	硬性下疳、梅毒性バラ疹
	百日咳	宮崎市	40 歳代	男	—	持続する咳
		日南	0~4歳	男	—	持続する咳、夜間の咳き込み、ウーブ、嘔吐、チアノーゼ、白血球数増多
			5~9歳	男	—	持続する咳
			5~9歳	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み、スタッカート
5~9歳	女	—	持続する咳			

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は721人(定点当たり23.4)で、前週比131%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は水痘とRSウイルス感染症である。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

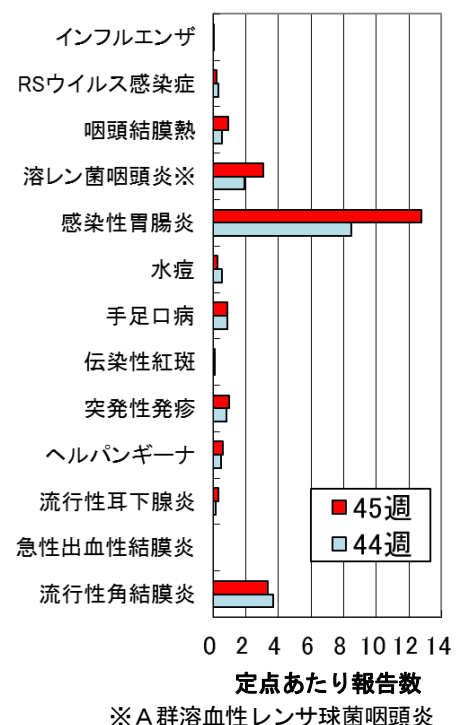
報告数は107人(3.1)で、前週比158%と増加しており、例年同時期の定点当たり平均値*(1.5)の2倍である。高鍋(7.0)、中央(6.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は4~6歳が全体の約4割を占めている。

【感染性胃腸炎】

報告数は446人(12.7)で、前週比150%と増加しており、例年同時期の定点当たり平均値*(10.7)の約1.2倍である。小林(29.3)、中央(18.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は1~2歳が全体の約3割を占めている

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

《前週との比較》

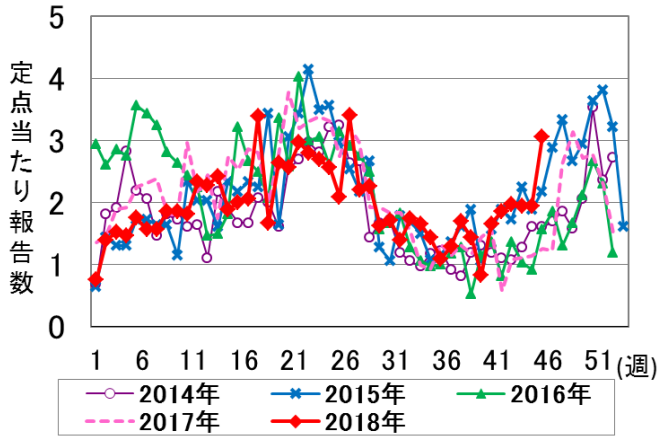


0 2 4 6 8 10 12 14

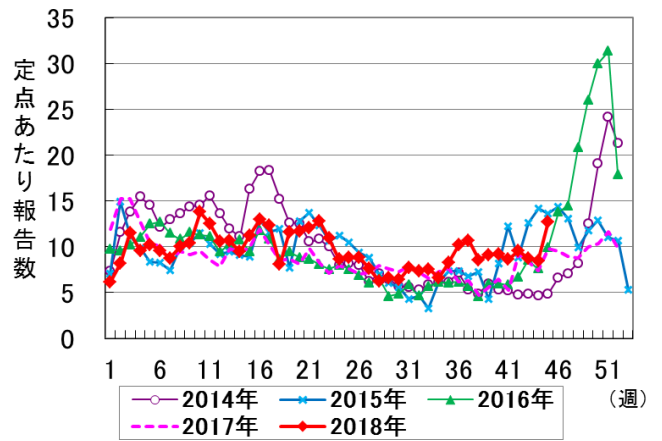
定点あたり報告数

※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



感染性胃腸炎 発生状況



★基幹定点からの報告★
報告なし。

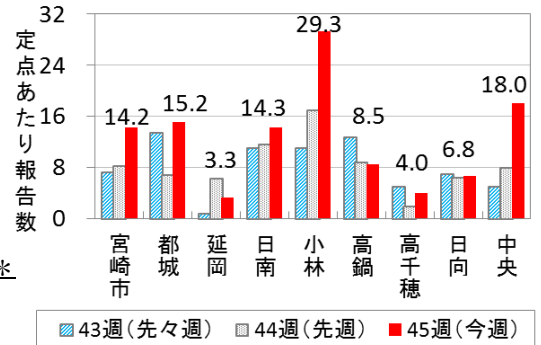
★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	咽頭結膜熱(3.0)
日南	なし
小林	感染性胃腸炎(29.3)
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	水痘(3.0), 手足口病(8.0)

* 流行警報レベル開始基準値*

- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・水痘(2.0)
- ・手足口病(5.0)

感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



全国 2018 年第 44 週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (全国第 44 週)

1類感染症	報告なし	
2類感染症	結核	328 例
3類感染症	細菌性赤痢	11 例
	腸管出血性大腸菌感染症	63 例
4類感染症	E型肝炎	9 例
	A型肝炎	16 例
	腸チフス	1 例
5類感染症	つつが虫病	15 例
	デング熱	6 例
	日本紅斑熱	6 例
	レジオネラ症	43 例
5類感染症	アメーバ赤痢	5 例
	ウイルス性肝炎	1 例
	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	30 例
	急性弛緩性麻痺	10 例
	急性脳炎	8 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	4 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	7 例
	後天性免疫不全症候群	13 例
	ジアルジア症	1 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	8 例
侵襲性肺炎球菌感染症	40 例	
水痘(入院例)	6 例	
梅毒	76 例	
播種性クリプトコックス症	2 例	
破傷風	1 例	
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	
百日咳	316 例	
風しん	154 例	
麻しん	2 例	
薬剤耐性アシネトバクター感染症	1 例	

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 96%とほぼ横ばいであった。なお、前週と比較して増加した主な疾患は水痘とインフルエンザで、減少した主な疾患はヘルパンギーナとRSウイルス感染症である。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は6,003人(1.9)で前週比99%とほぼ横ばいであったが、例年同時期の定点あたり平均値*(1.8)の約1.1倍である。鳥取県(4.0)、北海道(3.3)、福岡県(3.2)からの報告が多く、年齢群別では4~7歳が全体の約5割を占めている。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

📊 月報告対象疾患の発生動向 <2018年10月>

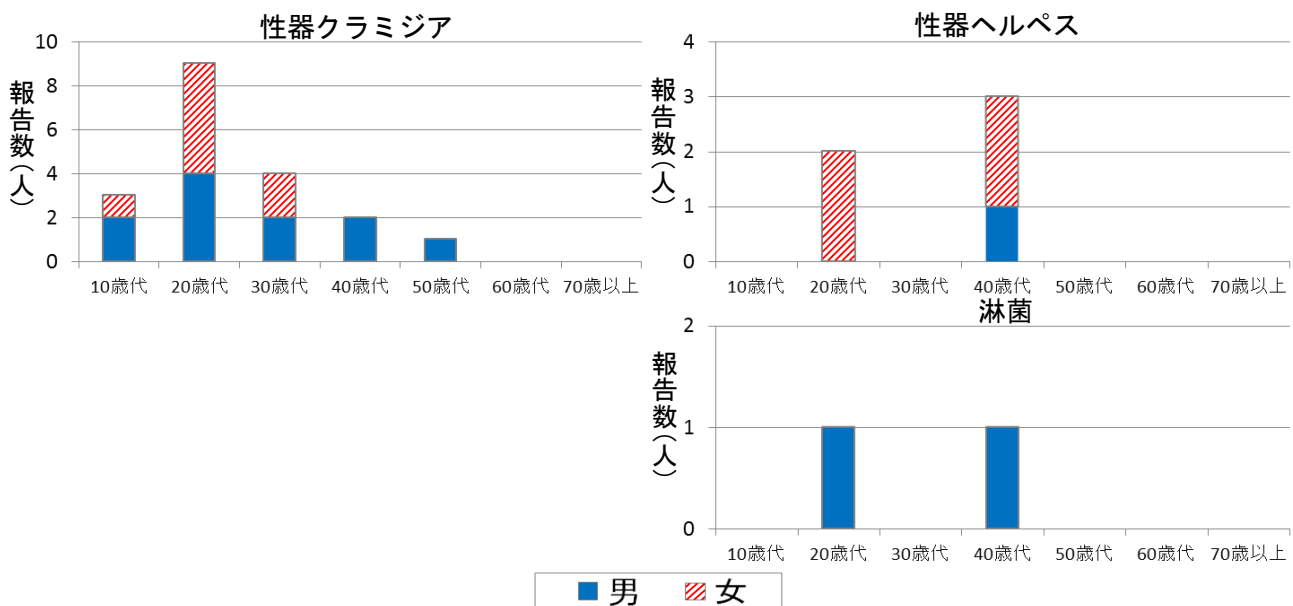
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は26人(2.0)で、前月比93%と減少した。また、昨年10月(3.2)の63%である。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数19人(1.5)で、前月とほぼ同率、昨年10月の約0.7倍である。
20～30歳代が全体の約7割を占めている。(男性11人・女性8人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数5人(0.38)で、前月の約1.7倍、昨年10月の0.5倍である。(男性1人・女性4人)
- 尖圭コンジローマ：報告なし。
- 淋菌感染症：報告数2人(0.15)で、前月及び昨年10月の0.5倍である。(男性2人)



【全国】 定点医療機関総数：981

定点医療機関からの報告総数は4,331人(4.4)で、前月比109%と増加した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,328人(2.4)で前月比108%、性器ヘルペスウイルス感染症761人(0.78)で前月比113%、尖圭コンジローマ537人(0.55)で前月比128%、淋菌感染症705人(0.72)で前月と同率である。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は16人(2.3)で、前月比123%と増加した。また、昨年10月(3.9)の59%である。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数16人(2.3)で、前月の約1.3倍、昨年10月の約0.6倍である。70歳以上が全体の約6割を占めている。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

【全国】 定点医療機関総数：479

定点医療機関からの報告総数は1,537人(3.2)で、前月比108%と増加した。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,385人(2.9)で前月比109%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症140人(0.29)で前月と同率、薬剤耐性緑膿菌感染症12人(0.03)で前月と同率である。

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2018年 第45週(11月05日～11月11日)

疾病名		第44週	第45週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	2	1					1				
	定点あたり	0.03	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	11	7		3		2		1		1	
	定点あたり	0.31	0.20	0.00	0.50	0.00	0.67	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00
咽頭結膜熱	報告数	19	33	7	7	12	5				2	
	定点あたり	0.54	0.94	0.78	1.17	3.00	1.67	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	68	107	30	14	13	6	2	28		8	6
	定点あたり	1.94	3.06	3.33	2.33	3.25	2.00	0.67	7.00	0.00	2.00	6.00
感染性胃腸炎	報告数	297	446	128	91	13	43	88	34	4	27	18
	定点あたり	8.49	12.74	14.22	15.17	3.25	14.33	29.33	8.50	4.00	6.75	18.00
水痘	報告数	18	9	1		1	1				3	3
	定点あたり	0.51	0.26	0.11	0.00	0.25	0.33	0.00	0.00	0.00	0.75	3.00
手足口病	報告数	30	30	9							13	8
	定点あたり	0.86	0.86	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3.25	8.00
伝染性紅斑	報告数	4	4	3			1					
	定点あたり	0.11	0.11	0.33	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	29	34	10	2	6	2	3	7		2	2
	定点あたり	0.83	0.97	1.11	0.33	1.50	0.67	1.00	1.75	0.00	0.50	2.00
ヘルパンギーナ	報告数	16	20	7	1	10	1		1			
	定点あたり	0.46	0.57	0.78	0.17	2.50	0.33	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	5	10		4	1	4					1
	定点あたり	0.14	0.29	0.00	0.67	0.25	1.33	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
急性出血性結膜 炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	22	20	13	1	6						
	定点あたり	3.67	3.33	4.33	0.50	6.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:58、小児科定点:35(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点あたり報告数

全数把握対象疾患累積報告数(2018年第1週～45週)

2類感染症	結核	144例(2)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	38例(1)				
4類感染症	E型肝炎	3例	A型肝炎	22例	重症熱性血小板減少症候群	11例
	つつが虫病	6例(4)	デング熱	1例	日本紅斑熱	18例(1)
	レジオネラ症	7例(1)	レプトスピラ症	2例		
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	5例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	14例
	急性弛緩性麻痺	1例	急性脳炎	6例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例	後天性免疫不全症候群	7例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3例
	侵襲性肺炎球菌感染症	22例	水痘(入院例)	1例	梅毒	5例(1)
	播種性クリプトコックス症	4例	破傷風	4例	百日咳	268例(5)
	風しん	3例				

()内は今週届出分、再掲